



即時発表

連絡先 Davia Temin または Suzanne Oaks
 テミン・アンド・カンパニー
 電話：+1-212-588-8788

アルケミックス社がアプタマー試薬の開発と商品化に向けた知的所有権をリボミック社にライセンス供与

【2006年11月29日・米マサチューセッツ州ケンブリッジ発】 アプタマー治療薬の研究開発に取り組んでいるアルケミックス社は本日、抗体精製用分離剤に使用されるIgG（免疫グロブリンG）アプタマーの全世界・非独占ロイヤリティライセンスをリボミック社に供与したと発表しました。金銭面の条件は公表されていませんが、このライセンス契約では、先払金と目標達成報奨金のほか、製品化された場合の売り上げに対するロイヤリティも支払いの対象となります。

アルケミックスの社長兼最高経営責任者（CEO）を務めるErrol De Souza博士は次のように語っています。「アルケミックス社では、治療用アプタマーの創薬、開発ならびに実用化に専念しています。しかし、アプタマー技術は、当社の戦略利益の中心的分野以外の用途にも幅広く応用することができます。リボミック社に対する今回のライセンス供与は、当社が持つアプタマーの知的所有権を、当社の中心事業以外の分野で活躍する企業にも広く提供しようとする当社の企業努力を示すものです。リボミック社のような企業との契約は、アプタマーに関する当社の知的財産権ポートフォリオを、他社との協力という形で活用することによって、株主価値を創造しようとする当社の総合戦略の一環として行われるものです。」

リボミック社の最高経営責任者（CEO）を務める宮川伸氏は次のように語っています。「我々は抗体精製市場の重要性を認識し、アプタマーを使用した独自の商品をもって、将来1億ドル以上の規模になると予想されるこのマーケットの主要な一角を占めることを目指しています。アルケミックス社からのこうした形でのライセンスはアジア初であり、我々のアプタマー事業における重要なステップとなりました。このライセンス契約を通じ、アプタマーを用いた当社の抗体精製用分離剤の開発が加速され、将来的には我々の分離剤が、その特性上の優位点から現状のタンパク使用の分離剤の代替となることを期待しています。」

アプタマーについて

アプタマーは明確な三次元構造を持つ一本鎖核酸で、考え方としては抗体と似た方法で標的分子と結びつくことができます。アプタマーは、高い特異性と親和性、化学的安定性、低い免疫原性、タンパク質を標的とする能力（タンパク質相互作用）など、低分子と抗体の両者の最適特性を持ち合わせています。モノクローナル抗体とは異なり、生細胞を用いて製造されるのではなく化学的に合成されるアプタマーには、コスト面で大きな利点をもたらします。

アルケミックス社について

アルケミックス社（Archemix Corp.）は、米マサチューセッツ州ケンブリッジに本社を置く株式非公開のバイオ製薬企業です。当社の使命は、選択性の高い治療薬の一種としてアプタマーを開発することによって、それをヒトの病気の予防と治療に役立てることにあります。独特の特性と実証された薬効を持つアプタマーは、幅広い用途において生物製剤や小分子製剤に代わり、これまで満たされていなかった医療ニーズに応える治療薬の一大分野を生み出す可能性があります。

アルケミックス社がアプタマーに関して持つ専門技術は、アプタマー治療薬の同定、合成ならびに利用に関する 220 件以上の取得済み特許と 230 件を超える申請中の特許という強力な特許基盤でサポートされています。中核分野であるアプタマー創製技術のほか、アルケミックス社は前臨床ならびに臨床段階の薬剤開発で強力な専門的力を有しています。アルケミックス社について詳しくはウェブサイト（www.archemix.com）をご覧ください。

リボミック社について

東京大学医科学研究所における研究成果を基に創業された株式会社リボミックは、東京に本社を置くバイオベンチャー企業です。新しいアプタマー製品の開発ならびに創薬を目指しています。

アルケミックスまたはアプタマーに関する詳しい情報、または Errol De Souza 博士への会見のお申し込みは、テミン・アンド・カンパニーの Davia Temin または Suzanne Oaks までお問い合わせください（電話：+1-212-588-8788 または電子メール：news@teminandco.com）。リボミック社に関する詳しい情報はウェブサイト（www.ribomic.com）をご覧ください。またはリボミック社の高木正明までご連絡ください（電話：+81-3-3440-3303）。